

【実施日時・場所】令和2年9月19日(土) @ コミュタン福島

【参加人数】22名(小学校19名, 中学校2名, 教科調査官1名)

【研修のねらい】

- 鳴川哲也教科調査官の講話を聴き, 新しい学習指導要領を踏まえた理科の授業づくりについての理解を深める。
- 各キーワードを基に, 日頃の悩みや取組みの共有を図ることを通して, 今後の授業実践につながる知見を得ることができる。



鳴川先生にも来ていただきました!

【研修内容】

① 鳴川哲也教科調査官による講演「新学習指導要領と理科の授業づくり」

本県出身の教科調査官である鳴川哲也先生に「新学習指導要領と理科の授業づくり」という演題で講演をしていただきました。コロナ禍においても理科の授業で大切にしたいこと, 理科における「深い学び」, G I G A スクール構想に向けた活用例等, 様々な視点から明日の理科の授業づくりにつながるヒントをいただくことができました。フロアの参加者からも, 本質に迫る質疑がたくさん出され, 鳴川先生に一つ一つ丁寧に答えていただきました。教科調査官に直接質問できる機会はなかなかないので, 参加者全員, 有意義な時間を過ごすことができました。



② ラウンドテーブルでの参加者同士の交流

「G I G A スクール構想」「指導と評価の一体化」「プログラミング教育」「2学期以降の授業構想」の4テーマに分かれ, ラウンドテーブル方式で参加者同士の交流会を行いました。各テーマにおける参加者の考え, 日々の悩み等をざっくばらんに出し合い, 共感し合う姿がたくさん見られました。互いの考えや悩みに寄り添いながら, 新たな知見を得ることができるのはS S T A 福島支部の研修会のよさだと改めて感じました。



【さいごに】

今回は, コミュタン福島がある県中地区からの参加者が多く, 普段のS S T A 福島支部研修会とは違う顔ぶれでの研修会になったような気がします。その大きな要因として, 福島県教育委員会の後援申請を取得したことで, 県内の学校にS S T A 支部研修会の案内を送付することができるようになったことがあります。今後も, S S T A 福島支部がめざすところや各研修会の趣旨を理解していただくと発信し続け, オール福島で高め合うことができるよう精力的に活動していきたいと思えます!

みんなで福島の理科教育, 科学教育を
盛り上げていきましょう!!

